



元いじめっ子! 土庄町



ワッショイ! ワッショイ!! ~四海幼稚園の太鼓めぐり~

9月定例会が開催されました	2-3
平成28年度の決算を審査します	4
議案に対する賛否、議員の活動状況	5
委員会の活動報告	6-7
庁舎問題調査特別委員会	7
一般質問（7人の議員が町政を問う！）	8~
まちの元気印（北浦地区まごころ隊）	14

●プロバスケットボールリーグ●

Bリーグ公式戦開催！！

9月 定例会

9月定例会は9月22日に開会し、9月28日に閉会しました。
補正予算4件、条例改正5件、契約関係3件、その他4件、平成28年度各会計決算認定、追加の補正予算1件が提出され、議案は各常任委員会審議を経て、全議案を可決しました。決算認定については、決算特別委員会を設置し、付託しました。

一般質問では、7人の議員が町政について質問を行いました。

補正予算の主な内容

保育所建設費

腫保育所建設実施設計

200
万円

859
万円

公共土木施設災害復旧費

台風3号・5号災害復旧工事

105
万円

保健体育総務費、体育施設費

Bリーグ公式戦実行委員会への
補助及び総合会館施設整備

畜産業費

第11回全国和牛能力共進会へ
オリーブ牛を出品するための補助

15
万円

条例の一部改正

◇土庄町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

人事院規則及び地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴うもの。

◇土庄町介護保険条例の一部を改正する条例

地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律による介護保険法の改正に伴うもの。

◇土庄町営住宅管理条例の一部を改正する条例

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の一部施行に伴うもの。

◇土庄町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴うもの。

◇土庄町総合会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

総合会館の利用形態に合わせ、エントランスホール、ロビー、駐車場に関する規定を整備する。

契 約

◇工事請負契約について

〈工事名〉 刈崎都市下水路 大谷ポンプ場機械設備新設工事

〈契約の方法〉 総合評価方式による指名競争入札

〈契約金額〉

5648万4000円

〈契約の相手方〉

(株)鶴見製作所 四国支店

◇工事請負契約について

〈工事名〉 刈崎都市下水路 大谷ポンプ場電気設備新設工事

〈契約の方法〉 総合評価方式による指名競争入札

〈契約金額〉

6112万8000円

〈契約の相手方〉

三菱電機プラントエンジニアリング(株) 西日本本部四国支社

◇工事請負契約について

〈工事名〉 社会資本整備総合交付金事業 刈崎ポンプ場電気設備改築工事

〈契約の方法〉 総合評価方式による指名競争入札

〈契約金額〉

5553万3600円

〈契約の相手方〉

(株)正興電機製作所 四国営業所

平成29年度補正予算 スポーツで賑わいづくり!

平成 29 年度補正予算

会 計 名		補 正 額	補 正 後
一 般 会 計		8967 万 7 千円	78 億 6757 万 4 千円
特別会計	国民健康保険	617 万 5 千円	23 億 2016 万 9 千円
	港湾整備	324 万円	6413 万 5 千円
	介護保険	2335 万 3 千円	18 億 7212 万 8 千円



そ の 他

◇香川県広域水道企業団の設置について
水道事業及び工業用水道事業の経営に関する事務等を共同処理するため。

◇小豆地区広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び小豆地区広域行政事務組合規約の一部変更について

香川県広域水道企業団の設置に伴うもの。

◇小豆地区広域行政事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について

香川県広域水道企業団の設置に伴うもの。

◇土庄町辺地に係る総合整備計画の策定について
29年度から5年間の新計画を策定しようとするもの。

本会議での質疑

《福本》豊島の給食センターの今後については。

《答》今後は、保護者・学校と協議して決める。

付託審査での主な質疑

防犯灯のLED化

《木場》防犯灯をLED化するメリットは。

《答》電気料が低減する。

番号制度対応システム改修委託料

《岡本》保険証もマイナンバーカードに組み込まれると聞いているが、その機能も含まれる改修か。

《答》いいえ。今回は、希望者に旧姓を本名と併記するための改修である。

豊島産業廃棄物視察で利用していたバスを町営シヤトルバスへ

《濱中》住民会議の視察対応は優先されるか。

《答》視察の予約が入った際はその都度調整する。

新設統合こども園について

《木場》建築面積は。

《答》約2,100㎡程度である。

島鯉の販売について

《濱中》島内での販売はどう考えているのか。

《答》販路を拡大していく形で考えており、地元ホテル関係へは卸している。と聞いている。

Wi-Fiの設置状況

《福本》Wi-Fiはどのように設置しているのか。

《答》唐櫃港、家浦港、土庄港、エンジェルロード公園、町役場、大坂城残石記念公園、大部港の7箇所である。

ポンプ場設置について

《母倉》ポンプ場の設置について必要性は。

《答》満潮時に高潮と大量の降雨という条件が重なると、強制的にポンプを使用しないと排水ができない。

平成28年度決算

一般会計、各特別会計、公営企業会計の平成28年度決算がまとまり、監査委員の意見を添えて提出された。

決算認定については、決算特別委員会が閉会中に継続審査することとなった。

決算特別委員会

委員長 母倉正人
副委員長 岡野能之
委員 岡本経治
濱野良一
高橋正博
山崎勝義
井上正清

平成28年度会計別決算額

(単位：千円)

会計名		歳入	歳出	翌年度繰越	実質収支
一般会計		8,332,645	7,856,344	354,779	121,522
特別会計	簡易水道	380,739	363,764	0	16,975
	国民健康保険	2,434,175	2,300,542	0	133,633
	港湾整備	30,687	69,904	0	△ 39,217
	宅地造成	246	78,785	0	△ 78,539
	大鐸財産区	7,201	4,620	0	2,581
	農業集落排水	23,940	23,940	0	0
	介護保険	1,788,878	1,788,878	0	0
	福祉サービス	98,605	98,605	0	0
	後期高齢者医療	225,167	224,955	0	212
企業会計		収益	費用	純損益	
水道	収益的収支	467,879	394,574	73,305	

監査委員の意見

歳入を確保し、大型事業にも備えよ

【一般会計】

昨年に引き続き、収入未済額の減少、税等の収納率の向上がみられ、望ましいことである。今後も、特に新たな滞納の発生防止に努め、負担の公平・公正が図られるように努められたい。

今後は、公債費の増加、基金の取り崩しが見込まれる上、小豆島中央病院の経営状況によって、町の財政状況が左右されてしまう可能性がある。さらに、庁舎建設も控えている。

あらゆる歳入確保策を講じ、施策の選択と集中を一層徹底し、将来にわたり健全で持続可能な財政運営に努められたい。

【特別会計】

宅地造成事業については、分割分譲による売却の効果がみられないようであるから、売却価格の見直しや売却以外の資産活用方法について協議・検討されたい。

農業集落排水事業は、収支不足を一般会計からの繰り入れにより補てんしている。公営企業会計の適用による経営状況・資産等の把握、使用料の見直し、事業存続の適否を十分協議し、早急に事業の方向性を決定されたい。

【水道事業会計】

有収率の向上、適切な施設更新の促進、未収金の回収等、県内水道広域化に備えられたい。

報告

平成28年度決算健全化判断比率・資金不足比率

自治体財政の健全度を表す指標は、いずれも早期健全化基準を下回っている。

公営企業の資金不足比率については、宅地造成事業のみ資金不足が発生しており、経営健全化基

健全化判断比率	H28年度	H27年度	H26年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	—	15.0%
連結実質赤字比率	—	—	—	20.0%
実質公債費比率	6.5%	7.0%	8.0%	25.0%
将来負担比率	31.8%	44.2%	14.8%	350.0%

※赤字額がないものは一で表示

実質赤字比率・・・一般会計に占める赤字の割合
連結実質赤字比率・・・公営企業などを含む全会計に占める赤字の割合
実質公債費比率・・・自治体収入に対する借金返済額の割合
将来負担比率・・・将来にわたる実質的負債の割合

町の財政に大きく影響する小豆島中央病院企業団等の一部事務組合の経営状況にも留意されたい。

9月定例会の審議結果と賛否

賛否の分かれた議案

議案等	結果	岡野	岡本	濱野	高橋	木場	母倉	福本	濱中	山崎	川本	佐々木	井上
平成29年度土庄町一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
香川県広域水道企業団の設置について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
小豆地区広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び小豆地区広域行政事務組合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
小豆地区広域行政事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—

○：賛成 ×：反対 —：議長（議長は採決に加わりません）

全員賛成の議案

内 容	結果	内 容	結果
平成29年度土庄町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	土庄町総合会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
平成29年度土庄町港湾整備事業特別会計補正予算（第1号）	可決	土庄町営住宅管理条例の一部を改正する条例	可決
平成29年度土庄町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	工事請負契約の締結について【大谷ポンプ場機械設備】	可決
土庄町辺地に係る総合整備計画の策定について	可決	工事請負契約の締結について【大谷ポンプ場電気設備】	可決
土庄町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	工事請負契約の締結について【瀧崎ポンプ場電気設備】	可決
土庄町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	平成29年度土庄町一般会計補正予算（第3号）	可決
土庄町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例			可決

議員の会議等出席状況（平成29年7月11日～平成29年10月11日）

月 日	会 議 等	岡野	岡本	濱野	高橋	木場	母倉	福本	濱中	山崎	川本	佐々木	井上
7月14日	第2回香川県後期高齢者医療広域連合議会臨時議会	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
8月29日	香川県広報発行町議会連絡協議会定例会	○	○	○	○	—	—	×	—	—	—	○	○
9月1日	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	—	—	—	○	○	—	○
9月7日	総務建設常任委員会	○	—	○	—	—	○	○	○	—	—	○	議
//	国民健康保険運営協議会	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—
9月14日	議会運営委員会	—	—	○	—	—	○	○	—	○	○	○	議
9月22日	9月定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
//	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
//	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	—	—	—	○	○	—	○
//	総務建設常任委員会	○	—	○	—	—	○	○	○	—	—	○	議
9月25日	9月定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月28日	9月定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
//	庁舎問題調査特別委員会	—	○	—	—	○	—	×	○	—	○	○	○
9月29日	小豆地区広域行政事務組合議会9月定例会	—	—	○	—	—	—	—	○	○	○	○	○
//	小豆島中央病院企業団議会9月定例会	—	—	○	—	○	—	—	○	○	○	—	○
10月11日	広報特別委員会	○	○	○	○	—	—	○	—	—	—	○	○

○：出席 ×：欠席 —：出席不要 議：議長の職務出席 ※議長、副議長のみ出席の会議等は省略しています

教育民生常任委員会

(9/1)

生涯学習課

Bリーグ公式戦開催

プロバスケットボールBリーグの公式戦の開催が決定した。12月8日、9日に、土庄町総合会館において香川ファイブアローズとバンビシャス奈良の公式戦を行う。

《高橋》今年発足した小豆島スポーツティーズの事業の一環か。

《答》主体として、土庄町、土庄町教育委員会が取り組み、小豆島スポーツティーズがサポートするという考えである。

《岡本》客席が1,500席となっているが。

《答》見込みは難しいが、1,000人程度入ってほしい。

教育総務課

こども園の進捗状況

7月19日に第2次幼保再編協議会を開催し、園歌、園章、園名等について協議し、園名について、土庄こども園、大鐸

こども園、北浦こども園、大部こども園、四海こども園となった。

《川本》土庄こども園の周辺道路の環境整備は。

《答》NTT西日本の事務棟の取り壊しが、来年度上半期と聞いている。開園までに間に合うよう伝えている。

豊島学校給食センター

調理員の確保に苦慮し、中央学校給食センターから船で唐櫃港まで運び届けている。

《高橋》調理員が確保できた場合再開するのか。

《答》全くゼロではないが、抜本的に解決するためには、既に行っている中央学校給食センターから運ぶ方向であるが、豊島の方との話し合いを考えている。

住民環境課

土庄町空家等対策計画

本計画は、町民の生活環境の保全並びに災害等の予防を図り、安全・安心で活力あるまちづくりを推進することを目的に策定した。

一般廃棄物処理施設交渉

6月に岡山の弁護士事務所から135名の反対の署名の提出があり、反対の意向を示された。再度自治会と協議したが進展はなく、琴塚地区との交渉を断念した。新たな交渉先として、馬越をこみ最終処分場の候補地として選定し、7月に住民説明会を行った。

《岡本》元目地区が一番影響あると思うが、反応は。

《答》手を挙げて賛成ではないが、町にとって必要な施設であることは理解してもらっている。

総務建設常任委員会

(9/7)

総務課

長崎県雲仙市との友好交流協定

7月28日に雲仙市と友好交流協定の締結を行い、これまでの歴史と文化を通じて繋がった友好交流を、長く後世に繋いでいく。

具体的に、今年決まっている事業は、大商業祭りとタートルマラソンの際に交流事業を行う。

土庄町庁舎建設検討審議会の進捗

庁内検討部会、検討審議会を各2回行い、庁舎建設候補地についてメリット・デメリットを出し、委員による意見交換を行った。

雲仙市・土庄町友好交流協定式(調印式)



雲仙市との協定式の様子

《福本》審議会の傍聴は可能か。

《答》特に規定がないため検討する。

《岡野》30歳代、40歳代の意見を取り入れられるような場が必要ではないか。

《答》検討していく。

災害時備蓄物資の購入

災害時の備蓄物資について、毎年一定量を購入し、平成30年度に目標量を達成する考えであったが、県知事からの要請もあり、平成29年度に目標量を達成させる。

《母倉》期限切れになる飲料水等の処分方法は。

《答》町の総合防災訓練の際に配布するなど、期限が切れる前に有効に活用する。



備蓄物品

税務課

固定資産税の還付

課税の作業時に一部の土地の特例適用に誤りがあり、本来課税されるべき固定資産税が減額となったため、還付が発生した。予算の手配が出来次第、お詫びの上、すみやかに還付する。

今後こういった事態の発生を防ぐため、職員間の連携を密にし、ダブルチェックをするなど対策を講じているとの説明を受けた。

商工観光課

笠井武太夫邸

迷路の町にある旧笠井武太夫邸について有効活用を検討していたことに加え、台風の影響で一部屋根が抜け落ち、危険な状態となっているため一部撤去を行い、来年度以降にトイレ建設、案内所機能を備えた建物の建設を考えている。



どでカボチャ大会の様子

どでカボチャ大会

「第31回日本一どでカボチャ大会」について、町が事務局として進め、「第19回香川県どでカボチャ大会」、「第27回小豆島どでカボチャ大会」を併催し、土庄町商工会渚崎支部主催の「第23回しゅうどしまフレトピアフェア」と同時開催の予定である。

優勝者は、アメリカ西海岸で開催される世界大会に出場できる。

小豆島クルーズ

小豆島クルーズの運行結果は、合計79便、乗客数は、延451名であった。アンケート調査も行い、おおむね好評であり、この結果を参考に、費用対効果等を検討しながら、新しい観光誘致事業として検討したい。

ふれあい交流都市

「ふれあい交流都市」の締結から10周年となる大阪市浪速区との交流事業の一環として11月に行われる大商業まつりの初日に町長と浪速区の代表者がトークセッションを行う。併せてこれまでの交流事業を振り返るパネル展示や友好交流協定を締結した長崎県雲仙市のブースも設ける。

今後、浪速区、雲仙市と相互交流を通じて関係を深めていく。

今後、浪速区、雲仙市と相互交流を通じて関係を深めていく。

農
林
水
産
課

大鐸畑地かんがい管理委

大鐸畑地かんがい管理委員会使途不明金について町の顧問弁護士と相談し、現在、民事裁判として元職員に対し、大鐸畑地かんがい管理委員会の上部団体である土庄町土地改良区と土庄町が協力し、手続きを進めるとともに、刑事事件として、土庄町土地改良区は、告発等法的処置をとるよう言われている。

水道課

香川県水道広域化

水道事業等の統合に関する基本協定を8月30日香川県広域水道事業体設立準備協議会にて県、8市8町の首長による了承を得て、協定書の締結を行った。

《福本》企業団化した後、民営化という話は。《答》一切ない。

建設課

町道西古浜線道路改良事

現在、役場駐車場の一部に歩道整備工事を行っている。本線改良計画について現地測量を行い、道路計画及び必要用地面積を決定したいと考えている。

また、NTT西日本において事務棟を取り壊すが、取り壊し工法の計画に時間を要し、平成30年度上半期頃の予定である。

《佐々木》NTTの道路
拡幅部分と駐車場予定地
について買い上げるのか
賃借になるのか。

《答》道路拡幅部分は買い上げ、駐車場予定地は賃借の予定。



役場庁舎

庁舎問題調査

特別委員会

町役場庁舎は昭和46年に建設され、現在では老朽化が進むとともに、防災拠点としての機能不足を抱えているため、町が庁舎建設計画の検討をしており、慎重に調査し、検討を加えるため、本委員会を設置するものである。

委員長 佐々木 邦久

副委員長 岡本 経治

委員 木場 隆司

福本 耕太

// 濱中 幸三

//
川本 貴也

井上 正清

議員が町政を問う

質問議員	質問事項
濱中幸三	○公平・公正・平等な行政を ○国立公園内の太陽光発電施設建設に反対表明を ○県立養護学校の開校は
岡野能之	○障害者福祉施設の現在の進捗状況について
高橋正博	○中小企業振興基本条例制定後の進捗について ○上庄から蒲生へのトンネル設置について
山崎勝義	○町長の2期目に挑戦するかどうか。決意を



濱中幸三 議員

公平・公正・平等な行政を

濱中 豊島の瞳保育所の建設用地が家浦自治会から町へ寄付された。この用地は、自治会が94万円余りをかけて建物を撤去し、更地にしたものである。一方町は、土庄の認定こども園の運動場用地購入に1,290万円を、土庄幼稚園の借地料として毎年450万円余りを支払っている。

教育総務課長 家浦自治会の総意として寄付されたものであり、直ちに妥当性及び公平性に欠けるとは考えていない。寄付をいただいた貴重な土地であるので、保育所建設のために大切に有効利用させていただき、より良い瞳保育所を建設したいと考えている。

国立公園内の太陽光発電施設建設に反対表明を

濱中 豊島唐櫃栄山地区内の国立公園普通地域に大規模太陽光発電施設の建設が計画されている。

豊島自治連合会は、この計画に対し、反対を表明している。町長もまちづくりの方針や住民の意見に照らして建設反対の意思表明をお願いしたい。また、土庄町自然環境保全条例、土庄町景観条例の適用について今後どのように業者を指導していくのか。

建設課長 景観条例は、太陽光発電施設と地域の景観との整合を図るための項目が明示されていない状態なので、先行自治体・顧問弁護士と協議検討をしているところである。

住民環境課長 香川県との協議の中で現時点では開発行為には該当しないものと位置付けられている。しかしながら、豊島自治会から太陽光発電にかかる土地の形質行為な

る資料の提出を受けたばかりであり、このことについて、さらに香川県と協議していきたいと考えている。

濱中 栄山の太陽光発電事業は、すでに経産省の認可・認定があり、いつ事業に着手してもよいという差し迫った緊迫した状況にある。そういった状況にあるので、スピード感を持って、素晴らしい前文を持つ土庄町自然環境保全条例の適用をお願いしたい。町と包括協定を結んでいる公益財団法人福武財団理事長福武総一郎氏からも中国電力に対して、「世界にとつてかけがえのない瀬戸内海の自然や景観を破壊してまでエネルギーを獲得する必要性は全く感じない。太陽光発電事業者との買電契約を自粛していただきたく強くお願いしたい。」との内容の要請書が提出されている。

町長 住民の95パーセントの方が反対していることは、非常に重く受け止めているので、協調していくべきと思っている。

県立養護学校の開校は

濱中 養護学校の建設用地を町が用意して、町内に誘致できないか。

教育総務課長 現段階では土地を特定し、誘致を働きかけることは難しい。慎重に対応していきたい。



質問議員	質問事項
木場隆司	○小豆島町との合併問題について ○鳥獣害対策への取り組みについて
岡本経治	○町内住民の防災力アップについて ○小・中学生の防犯対策として
福本耕太	○水道事業広域化について ○政府に対し、「核兵器禁止条約」を批准するよう求めるべき ○町長は、出張理由や費用弁償の使い方を公開すべき

9月定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。

全文記録（会議録）は、土庄町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

▶土庄町ホームページ

<http://www.tonosho.kagawa.jp>



岡野能之 議員

障害者福祉施設整備の現在の進捗状況について

岡野 知的障がい者の場合、自立して生活ができる方が少なく、親の死亡等により生活の世話をする人がいなくなると、年をとってから、泣く泣く生まれ育った小豆島を離れ、島外のグループホームに移らなければならぬ方が増えていくことが予想される。

また、小豆島町にはグループホームソレイユが設立されており、土庄町の住民の方も利用されているため、町のグループホームの整備に対して、平成27年9月、平成28年6月定例会で質問したところ、答弁では民設民営の形式で整備を進めていると聞いたが、その後の進捗状況は。

福祉課長 新たなグループホームの整備については、養護者の方の高齢化が深刻な問題となる中、町有地を活用しての民設民営方式による整備の方向で、町内社会福祉法人と協議を進めていたが、当該法人の都合により、現在中断している。法人側からは、体制が整い次第、協議を再開したいと聞いており、町としても、早期の協議再開を期待している。また、協議の再開に当たっては、できる範囲での協力をしていきたい。

岡野 現在、知的障がい療育手帳所持者の方の人数、また、その中でも18歳以上の方の人数、それから障害福祉サービス事業を行っているひまわりの家の利用者の数、それからひまわりの家の利用者の方の平均年齢、また小豆島町のグループホームソレイユの利用者の土庄町の住民の方の数は。

福祉課長 3月末現在の町内で知的障がい療育手帳所持者数は205名で、うち18歳以上の方が183名である。

同じく3月末現在の土庄町の住民の方のひまわりの家の利用者数と平均年齢は、「就労支援、就労継続支援B型」では15名で、平均年齢42.3歳、「生活介護事業」では12名で、33.4歳となっている。

また、グループホームの利用者数は、グループホームソレイユが2名、明和会ホームオリーブが6名、郡外の施設が9名。合わせて17名である。

岡野 知的障がいをもっている方はひとりで暮らすのが苦しいと思われるし、また島外のグループホームを利用されている方もかなりいるので、ぜひとも早く進めていただきたい。

岡野 28年6月議会でも町長は、今月もしくは来月早々に協議をし、民間事業者にお任せしたいとの答弁であった。町長の今の考えは。

町長 現在のところは、当該法人との協議はできていないが、グループホームの設置に向けての体制が整い次第、早急に話を進めていきたい。

岡野 町長も作ることを前提に協議を進めていき、できるだけ早く施設の整備に向けて動きたいということなので、その方向で進めていただきたい。



グループホームソレイユ



高橋正博 議員

中小企業振興基本条例制定後の進捗について

高橋 日本経済はデフレ脱却したかのようにだが、地方は好景気感を実感する状況ではない。町において平成29年3月に土庄町中小企業振興基本条例が制定された。

町内の企業家たちが社会経済情勢の変化に対応した中小企業振興施策を実施すべく必要な調査・研究機関としての土庄町中小企業振興審議会の設置はどのようになっているのか。

商工観光課長 土庄町中小企業振興基本条例は、中小企業者及び本町民の努めるべき事項を明らかにすることにより、地域経済の活性化並びに町民生活の向上に寄与するこ

とを目的とし、今年3月に施行された。今後は、本条例の基本理念に則り、四国経済産業局をはじめ、土庄町商工会、日本政策金融公庫高松支店、地元金融機関と連携し、中小企業振興施策を継続、強化していきたい。

社会経済情勢の変化に対応した中小企業振興施策を実施するための必要な調査・研究については、本町が観光産業を基盤として鑑み、土庄町商工観光業振興条例の規定による土庄町商工観光業振興協議会において、より広い視野で協議、検討することで町内中小企業者の経営の安定及び育成振興を図っていく。

上庄から蒲生へのトンネル設置について

高橋 現在、小豆島内で一番交通量が多いのは、富丘八幡神社付近の瀧崎交差点だと思う。町の北部方面から小豆島町への通勤者が増えていること。また、小豆島中央病

院、小豆島中央高校が旧池田町に建設された。それから、瀬戸内国際芸術祭の効果とみられる観光客の増加があり、自家用車での観光客も大変増えている。

現在、双子浦において道路拡張工事を実施しているが、自転車、歩行者の安全性を重視した歩道の整備であり、車道の車線は増えない。そこで、交差点の渋滞を緩和するため、上庄地区から蒲生地区へ抜けるトンネルによるバイパス道路の設置を切望する。将来的な展望としてどのような考えか聞きたい。

建設課長 瀧崎交差点の交通量について調査した結果、小豆島中央高校が開校する以前より、自動車交通量及び歩行者には、変化がないが、自転車については1.4倍になっている。香川県では国道436号

では国道436号



瀧崎交差点

双子浦工区の整備を進めているところである。瀧崎交差点の整備では、現在オーリーブ通りのみに右折レーンが整備されているが、今回の整備により、その他の北山、赤穂屋、双子浦からの3方向に右折レーンの新設が計画されている。事業完了後においても、交通量等に注視し、渋滞等の問題が発生するようであれば、関係機関を交え、トンネル設置等の対策について研究していきたい。



山崎勝義 議員

町長選挙について

山崎 町長の任期が近づいている。12月には町長選挙が行われるが、2期目に挑戦するか決意を。

町長 平成26年1月に町長に就任して以

来、安心・安全・安定なまちづくりを目指し、できる限り現場に足を運びつつ、また町民の皆様や議会の皆様との対話を大切にしながら、日々全力で町政に取り組んできたところである。おかげで、概ね順調に町政を運営できたのも皆様の深いご理解とご支援、ご協力の賜物と理解している。

私自身の任期も、もうあと数か月である。引き



島鱧運搬車

続き進めていかなければならない施策、またこの4年間の中で新たにスタートさせた事業を着実に遂行していく責任があると考えている。今後も誰もが安心して暮らせる住み良いまちづくりのため皆様とともに引き続き町政の運営の先頭に立ち、全力でがんばらせていただきたい。町の更なる発展のために尽力したいという強い思いを胸に今回の町長選に立候補する決意である。

山崎 1期4年、町民の安全・安心のため色々と努力されたが、まだまだやり残したことがたくさんあると思うが、町長の思いを。



木場隆司 議員

小豆島町との合併問題について

木場 平成の合併が行われたとき小豆3町が1つになる話があった。今年に入って公立高校2校が統合、また去年は公立病院の統合と「島はひとつ」という方向で進んでいるように思うが合併の現状はどうなっているのか。

町長 私が就任した当初より、「島はひとつ」「島全体で長期的なビジョンを策定するべきである」「当然ながら合併するべきである」との基本姿勢は今も変わっていない。一歩ずつ合併に向けた議論をしていきたい。

木場 住民の意見を聞きながら取り組んでほしい。

鳥獣害対策への取り組みについて

木場 小豆島のイノシシの生息数はおよそ何頭なのか、農産物の被害は減少しているのか、農業者が減少し、点在した農地で農業に取り組んでいる人、また個人もいる。そうした中で町では個人に対する補助制度がない。イノシシによる農作物の被害は、農家だけの責任なのか。また農地等の擁壁岸の崩壊は土地所有者だけの責任なのか。考え方を問いたい。

農林水産課長 生息数については、これまでの捕獲個体数や出没件数、自然増加率などに基づく統計学的手法を用いて算出した結果、小豆島には312頭から998頭までの間で、推定生息数は591頭生息しているが、根拠となるデータが少なく誤差が大きい可能性がある。と報告されている。農作物の被害状況調査によると、前年比9%減少している。補助については、複数

の農業者等が農作物被害軽減のため、侵入防止柵を自力で施工する場合は、事業費の上限は50万円。資材額相当額、全額を補助する制度がある。また、町が管理している農道や水路については、土石の撤去、石積み等の原形復旧工事を行っている。

木場 28年度に小豆島で捕獲したイノシシの数はいくらか。

農林水産課長 土庄町で543頭、小豆島町で1,144頭、合計1,687頭捕獲している。

木場 1,687頭捕獲しているということは、現実にはその倍以上の生息数と思われる。より一層の対策を望む。

防護柵の補助は個人にはしないのか。



イノシシによって崩された石積み

農林水産課長 県の補助事業で複数、2名以上の農業者から申請があれば採択になる事業で町ではかさ上げ補助している。

木場 地域によっては農業者一人ひとりの農地が点在し、この場合補助の対象になっていない。農業振興の立場から、町として公平な対策を望む。

町長 この4年間で新たに色々な事業をスタートさせた。医療・福祉・教育等色々な分野があるが、医療については、小豆島中央病院の開院、教育については小豆島中央高校の開校。今後、両町が支援し、上手くやらなければいけない。次世代の野菜工場については、地方創生の補助金を活用しながら実施していく。また、四海漁協の島鰯をブランド化し、今年から初出荷した。



植物栽培システム研究所



京都産業大学との連携事業「京都・土庄むすびわざ大学」の様子



山崎 1期目にやり残したこと2期目にやりたいことを力強く聞かせていただいた。



岡本経治 議員

町内住民の防災力アップについて

岡本 南海トラフ大地震などで大規模災害に備えて、どのような取り組みと、対策を考えているのか。

総務課長 町民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、町では災害に強いまちづくりを目指した取り組みとして、避難所等の公共施設の耐震診断と耐震改修、防災行政無線等の情報伝達体制の整備、急傾斜崩壊防止の工事、河川の改修、治山対策、高潮対策など防災・減災事業に力を入れている。

防災意識を高める一環として広報、講座等で災害時の避難場所や避難す



総合防災訓練様子

る時の心得、災害の備えなどを周知する啓発活動も定期的に行っている。毎年9月の防災週間の時期には、自助・共助・公助の再認識と災害時における心構え、防災活動の向上を図るため、役場・警察・消防本部・消防団・自治会等が連携した土庄町総合防災訓練を実施している。

岡本 各地域で一番機動力のある消防団の方々と総務課でしっかりと連携をとって、初動が一番大切だと思うので住民の安全確保に取り組んでいただきたい。

岡本 新聞記事で9月1日の防災の日に、綾川町内の5校の児童と教職員全員分の場所をとらない折りたたみ式ヘルメットを1,400個購入し、配布とあつたが、1個だけ3,000円から4,000円程であるが、町としてはどの様に取り組んでいく考えか。

教育総務課長 町内の小中学校における災害対策については、マニュアルに基づき、防災訓練等を行い、避難の手順や避難場所の確認を行っている。

香川県内においても防災ヘルメットを使用した防災訓練の普及が進んでおり、調査したところ、防災頭巾または防災ヘルメットを一部の学校も含め、小中学校で常備している市町は、8市9町中13市町で、多くの市町に常備配置が進んでいる。

特に、高松市などは綾川町と同じく、全小学校に対し折り畳み式ヘルメットを配布している。

町においても、災害対策また防災訓練における防災ヘルメットの役割は非常に大きいと考え、児童・生徒の安全確保は、学校及び教育委員会の責務である。防災ヘルメットの必要な数も含め、学校側と十分に話し合い、検討を進めて行きたい。

岡本 香川県内でも前例が沢山あるということである。知事も子どもたちの安全に対するコメントをしているので、町長も児童、生徒に対して速やかに対処していただきたい。

小・中学生の防犯対策として

岡本 これから夕暮れが早くなる時期のスクールバスの利用、特に小学生の利用をどのように考えているのか。

教育総務課長 放課後の行事がある場合は、1日3便を運行している。

3便目は学校を17時45分に発車しているが、大木戸、吉ヶ浦、港新町及

び大谷地区については、4、5、6年生をバスの乗車対象の児童としない。子どもの体力の保持など保護者間で賛否両論あり、学校においても終了時間を早めるなど他にも対策があることから、増便せず現状維持で運行をしている。

しかし、今後は児童の安全をもう一度考える上でも、学校、PTA等でも意見伺い、現状把握も含め、引き続き調査・検討をする。

岡本 日が落ちて暗くなったらイノシシが街中を出没すること考えられる。すでに出没地域もある。しっかりとPTAの方々と協議して子どもたちと保護者が安心できるように速やかに対処していただきたい。

岡本 中学生の手さげカバンを、両手が空き、安全確保できるようにどのように指導しているのか。

教育総務課長 小豆島中学校がすでに導入している経緯もあり、現在学校とPTAで話し合いを進めている。背負えるタイプのカバンを想定しており、2学期中に生徒の意見も聞いた上で、早い時期に導入する方向で考えている。保護者からの強い要望もあるので、教育委員会としても学校、保護者の意見を十分に尊重していく方向で考えている。

岡本 町長も安心・安全・安定ということを言われている。予算、意見厳しくとも、子どもたちの安全確保のためには必要なことだと思う。しっかりとした町長の英断が望まれる。執行部と協議しながら速やかに取り組んでいただくことを強く望む。



福本耕太 議員

水道事業広域化について

福本 広域化が民営化の「地ならし」にならぬよう歯止めを。

現在、全国で行われている水道事業広域化の議論は、将来の民営化（株式化）を前提としている。そのため、国会や全国の自治体では「慎重に」との声が少なくない。それは、いったん民営化になると多国籍資本が株式を保有し、住民の命の水が資本の利益最優先の動きに支配されることになるからだ。一部では、すでに中国資本が日本の水資源保有を検討しているとの情報もある。県議会では日本共産党県議が、民営化について質問した際、県は、現時点での民営化を否定したものの、将来にわたっての言

及は避けている。

町は、今定例会で広域化のための企業団規約の締結に議会の賛同を求めているが、民営化について、県とどのような協議をしたのか。また、町として企業団規約の中に民営化禁止条項を盛り込むよう求め、民営化に釘を刺すべきではないか。

水道課長 香川県の広域化の目的は、経営基盤の強化・確立であり、民営化そのものではないと認識している。また、広域化基本計画等においても事業の民営化については

記載していないため、協議も禁止条項も必要はないと考えている。



小部浄水場



小部水源

源も残していく方針である。小部浄水場は維持修繕できる間は使用するが、更新工事はせず、将来廃止する。小部水源は、大部浄水場との連携などその際検討する。

町長は日本政府に対し、「核兵器禁止条約」を批准するよう求めるべき

福本 今年7月7日、人類史上初めての「核兵器禁止条約」が国連で結ばれた。しかし、世界で唯一の被爆国であるわが国の政府は、この条約に背を向けている。わが町は、「非核平和宣言」核兵器廃絶を目指す自治体として「宣言」をしている。町長は政府に対し、批准を働きかけるべきだ。

町長 町単独よりも他の自治体と連携してやるのが一番望ましいと考えて

いる。福本 核兵器廃絶で主体的な行動を求めると、いつも、町はそう答弁をするが、今まで一度でも他の自治体に連携を働きかけ、政府に意見したことがあるのか。

町長 いいえ、ない。

福本 「自治体連携」は、町の主体的行動を先延ばしにするための口実である。「宣言」自治体として、町長は核兵器廃絶に主体的に取り組むべきだ。

町長の出張について、公費の使い道を公開するべきだ。

福本 今年の3月議会では、私は、町長の県外出張に対し、出張先や出張理由、公費の使い道について書面での公開を求めた。理由は、「町長は、公務に不必要な高価な宿に泊まっている」など、具体的な内部告発が寄せられたからだ。当然事実であれば、条例違反になる。3月議会では町長は、

「公開する」と答弁したが、私の再三の要求にも応じず、半年間、公開せず放置している。公人として、それで良いと思っているのか。

町長 どういう形で出張に行ったか、経緯、流れについて6月にお渡しした。行き先や目的は、公開している。

福本 公費の使い道も公開すべきだ。

町長 細かい部分については、公開する必要はないと考えている。

福本 「正当な出張」をしているならば、堂々と公開できるのでは。

町長 他の自治体と照らし合わせながら、コンプライアンスを遵守して、同じような流れを作るべきと考えている。

まちの
元気印

北浦地区まごころ隊



メンバーの皆さん
(前列右から2番目が代表の藤本さん)

ンター、社会福祉協議会のメンバーで協議し、平成24年11月から活動をスタートしました。

Q メンバーは何人いますか。

A 19人です。(男性1人、女性18人) 北浦の各地区に3〜7人の活動をする隊員がいます。

Q 主にどのような活動をされていますか。

今回は、高齢者世帯の見守り活動を実施している「北浦地区まごころ隊」の皆さんにご登場いただきます。代表の藤本加代子さんをはじめ会員の皆さんにお話をうかがいました。

Q 活動を始めた時期ときっかけを教えてください。

A 平成24年に香川県から一人暮らし高齢者施策として見守り活動を行う団体の募集があり、自治会長、民生委員、老人会女性部、地域包括支援セ

ンター、社会福祉協議会のメンバーで協議し、平成24年11月から活動をスタートしました。

Q 活動を通して感じることは。

A 訪問した際に「来てくれてうれしい」や「待ってました」との声を聞くと活動をしてよかったと感じます。

また、プライバシーの問題などから訪問を拒まれる方がいますが、拒まれて放っておくのではなく、「電気がついているかな」などと気にかけて見守っていくことが大切だと感じています。

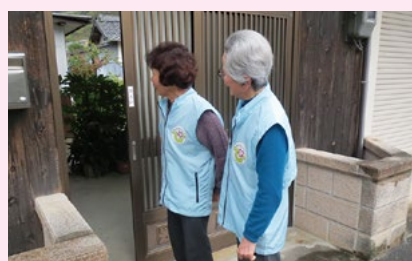
Q 今後の目標や力を入れていきたいことはあり

ますか。

A 北浦地区内の一人暮らし高齢者が地域の中で孤立することなく、安心して生活を続けられるよう、一人暮らし高齢者宅への訪問、電話、声かけ、見回りを行い、遠方に住んでいる家族へ電話やメールで近況を知らせている方もいます。

また、何らかの支援を必要とする方は、地域包括支援センターや社会福祉協議会へ情報提供を行っています。

夜になっても電気がつかないので、訪問すると倒れていて救急車を呼ん



訪問している様子

ますか。

A 見守りや訪問だけでなく、地区のサロンへ招待して、一人であな閉じこもるのではなく、地域の人との交流の機会を作ってあげたいと考えています。

また、地域内の商店が少なくなり、買物に困る方が増えています。買物弱者の方への支援も考えています。

Q 町や議会に対する要望はありますか。

A どこでも、誰でもが行っている近所づきあいや助け合い活動ですが、この活動を通して、高齢者の孤立化を防ぎ、地域住民間の良好な人間関係が構築されていることを



訪問する際着用するベスト

知っていただき、応援していただけると嬉しいで

「苦労はない」「地域の人は地域で守る」との言葉が印象的でした。これからも継続して活動が続けていただき、この活動が町全体に広がるよう支援していきたいです。

これからの皆さんの活動で、たくさんの方が地域で安心して暮らせるようがんばってください。

議会の生の声を
聞いてみませんか？

次回定例会は

12月初旬から

の予定です

詳しくは議会事務局へ

☎ 62-7011

議会日程は町ホームページでもお知らせしています

編集後記

向寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

議会としては、土庄町における諸問題をどのように克服するのか、行政と一緒に取り組んでいます。併せて、町政の様々な施策が、適正に執行されているのかをチェックする、大切な役割も担っています。広報委員会としては、議会だよりの発行を通じて、町政や議会についてわかりやすく、興味をもって読んでいただけるよう、毎号頭をひねっていますが、皆様がどのように感じられているのか、非常に気になることです。より良い議会だよりの作成に当たり、様々な情報と共に、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

限られた紙面ですが、一層皆様のお役に立てる広報誌の作成を心がけてまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

《濱野良一 記》